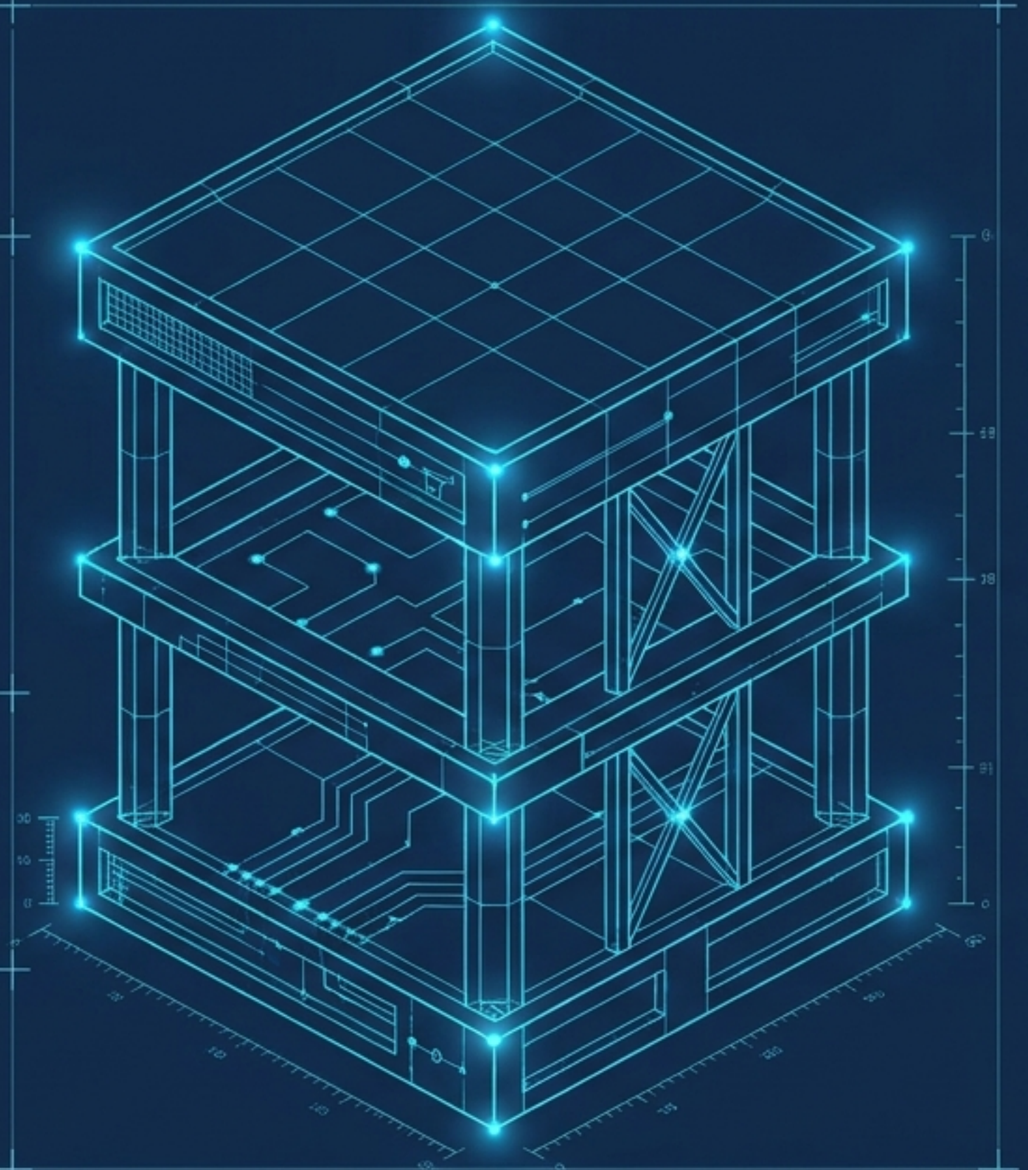
知財AIの進化と実装戦略：Agentic AIがもたらす変革と4つの壁

リーガルテック社の動向から紐解く、
次世代R&D・知財プロセスの設計図



Gemini Notebook

Executive Summary：知財AI実装の全体像

Q1

Q1. Vision（ビジョン）



- 「知財の民主化」
- 守りのコストから攻めの資産への転換

Q2

Q2. Evolution（進化）



- 対話型AIから「3層構造の自律型Agentic AI」へ
- 業務プロセスへの完全埋め込み

Q3

Q3. Reality Check（現実の直視）



- 現場実装を阻む4つの構造的壁
- 組織、技術、法務、事業の摩擦

Q4

Q4. Playbook（実践プロトコル）



- 課題を乗り越える「5視点のガバナンス」
- Human in the Loopによる品質統制

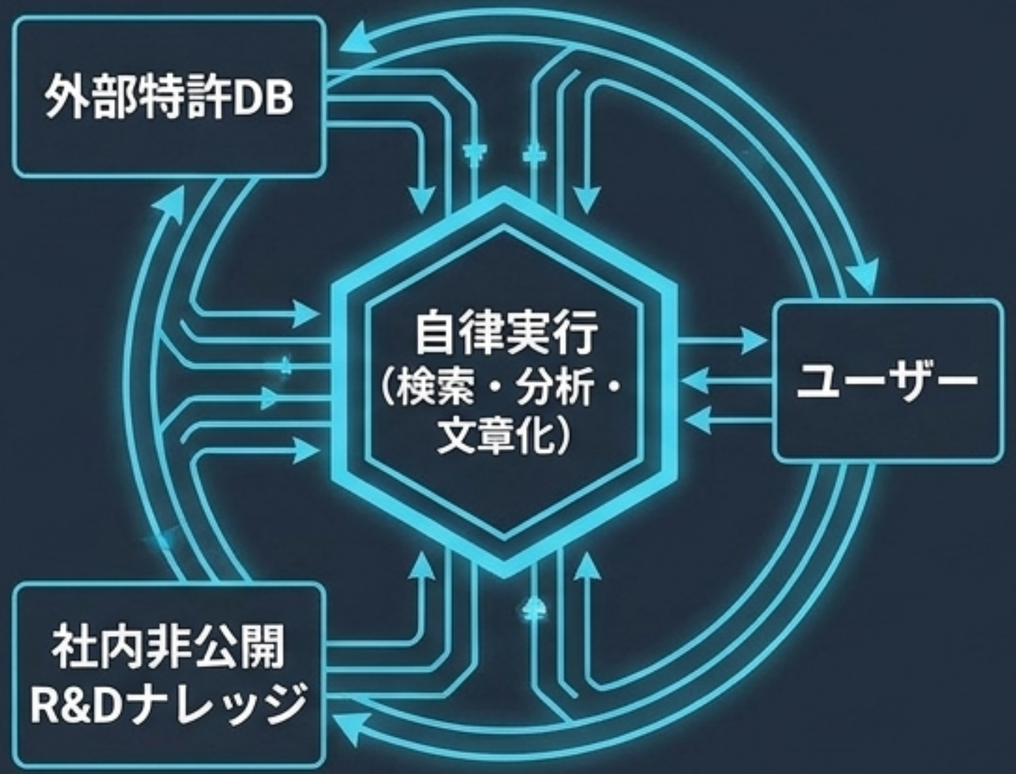
Gemini Notebook

The Paradigm Shift：単機能AIから「Agentic AI(自律型)」への進化

Before: プロンプト型単機能ツール



After: 業務プロセス埋め込み型Agentic AI



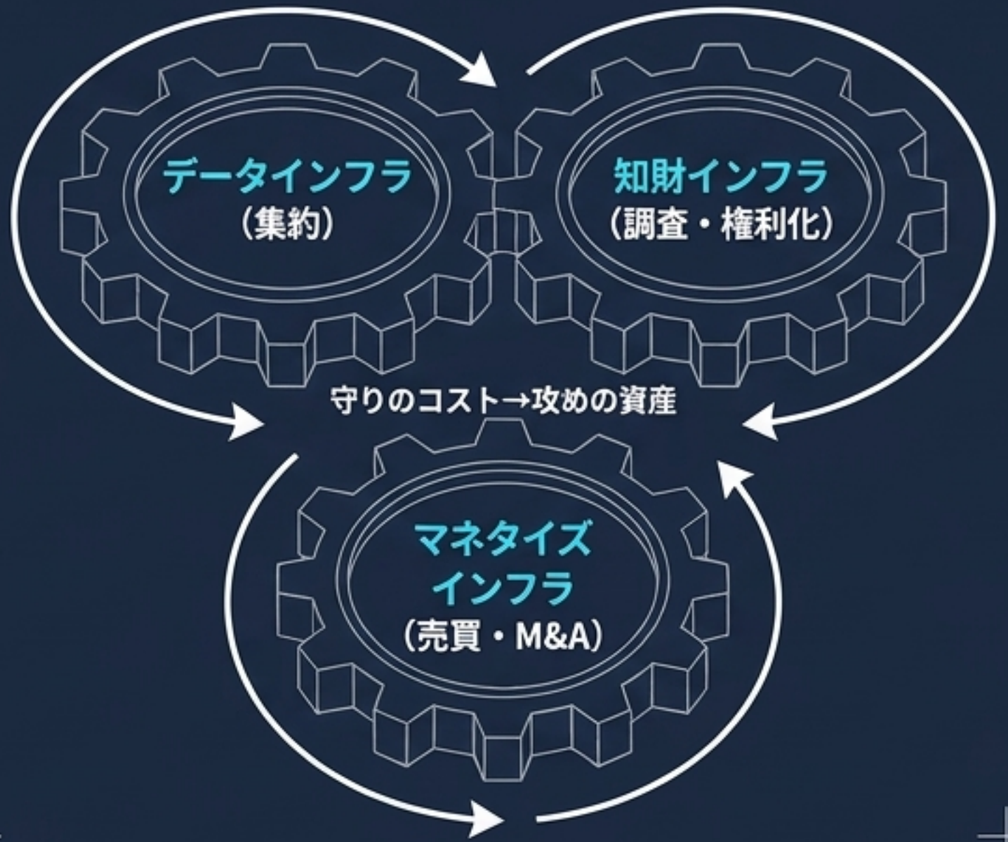
Gemini Notebook

Corporate Vision：「知財インフレ時代」を見据えた体制移行と資産化戦略

体制移行（2025- ）

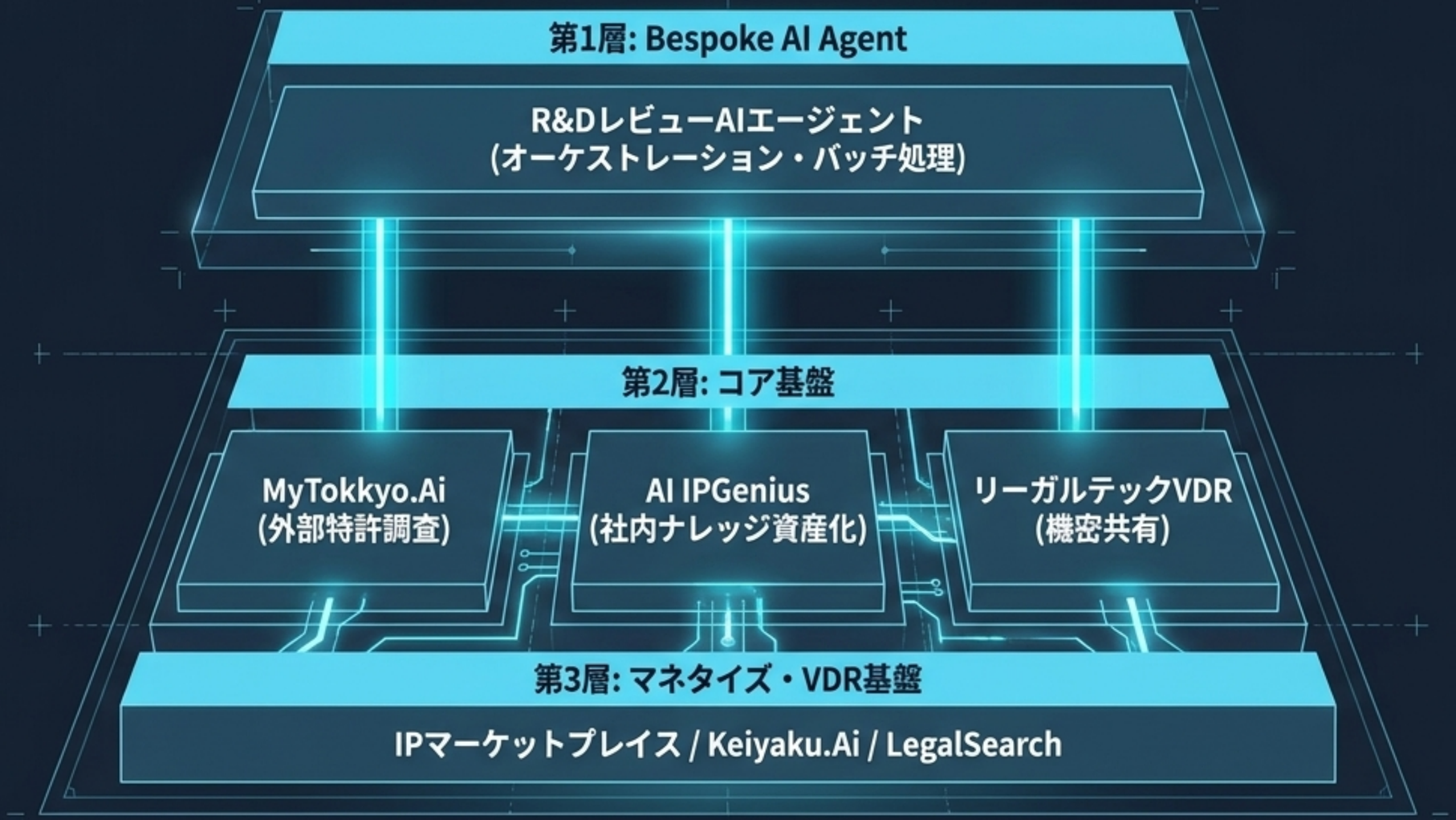
- 2025/3: リーガルテック(株)へ商号変更
- 資金調達：累計約3.8億円
- ガバナンス強化：法務・弁理士役員体制

知財インフレ時代のマネタイズサイクル



Gemini Notebook

The 3-Layer Architecture：外部DBと社内暗黙知を横断する統合プラットフォーム



Gemini Notebook

Layer Deep Dive：外部調査の透明化と社内暗黙知の構造化

MyTokkyo.Ai（外部）



- 思考プロセス可視化型ディープエージェント
- 外部学習・ブラウジング非実施の専用環境
- ChatDraft連携によるシームレスな移行

AI IPGenius on IDX（内部）



- 業界特化型ワークフローによるRAG資産化
- 小規模LLM（AI孔明）の活用
- 宇宙・衛星等、17の成長産業向け7分野専用構造
- 社内略称と汎用概念を紐付ける「呼称整理」

Gemini Notebook

The Bespoke Agent：R&Dレビュー業務を自動化する最上位エージェント



Gemini Notebook

Impact & ROI (Quantitative)：初動リードタイムの劇的な短縮

定量的成果：リードタイムの大幅な削減



Gemini Notebook

Impact & ROI (Qualitative)：R&Dと知財部門間の「視点の壁」の打破



R&D部門
（視点：既存製品からの改善）

知財部門
（視点：公知技術との差分）

AI差分整理

- **最短1時間**で関連特許と差異を整理完了
- 「どこに本質的な新規性があるか」核心的議論が可能に
- 作業効率化から、**R&D投資の意思決定支援**へシフト

Gemini Notebook

The Reality Check：実装現場が直面する4つの構造的課題

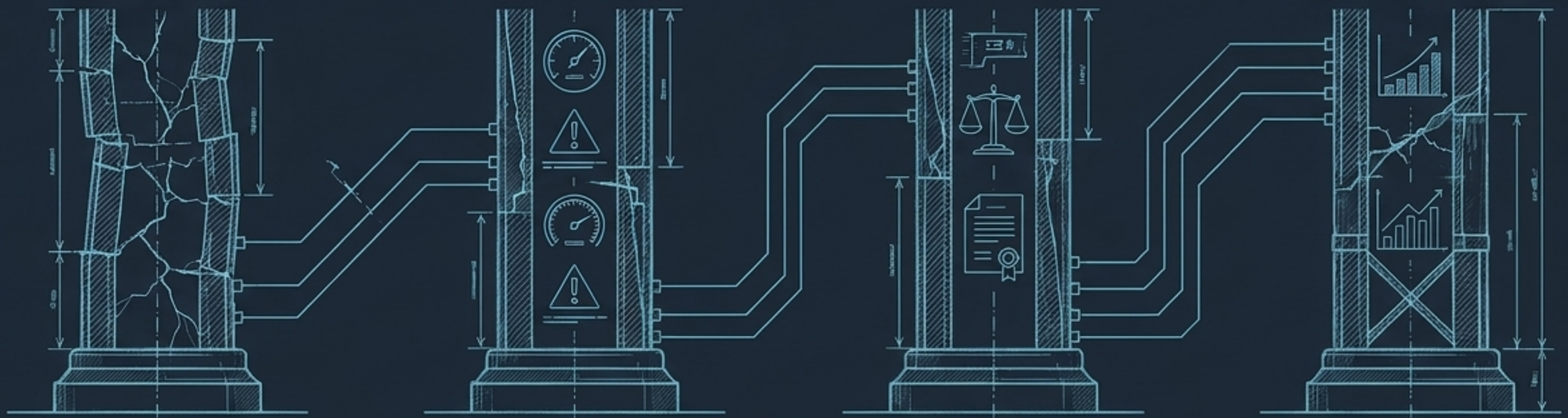
実務者の44.4%が精度に不安。58.6%が人とAIの役割分担に関心

①組織の実装壁
（部門間ギャップとシャドーAI）

②技術・品質の壁
（精度限界と自律実行リスク）

③法規制の壁
（弁理士法75条・非弁行為）

④事業・市場の壁
（拡張性とコストのジレンマ）



①組織の実装壁
（部門間ギャップとシャドーAI）

②技術・品質の壁
（精度限界と自律実行リスク）

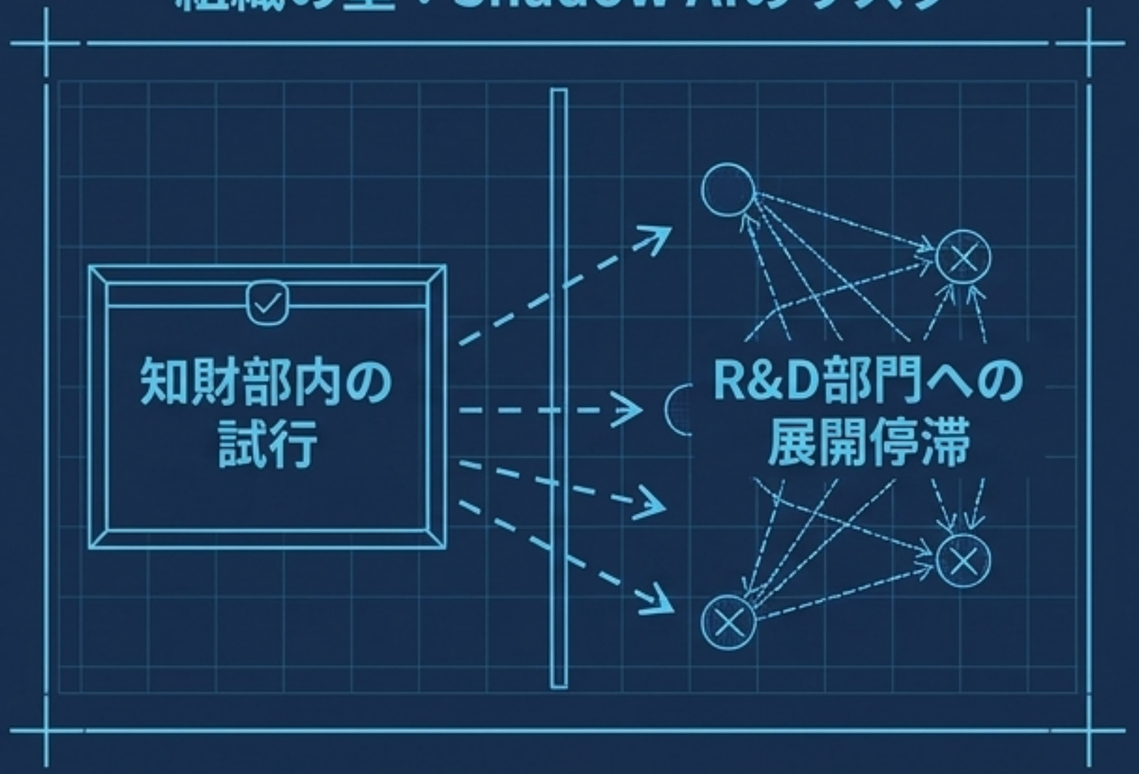
③法規制の壁
（弁理士法75条・非弁行為）

④事業・市場の壁
（拡張性とコストのジレンマ）

Gemini Notebook

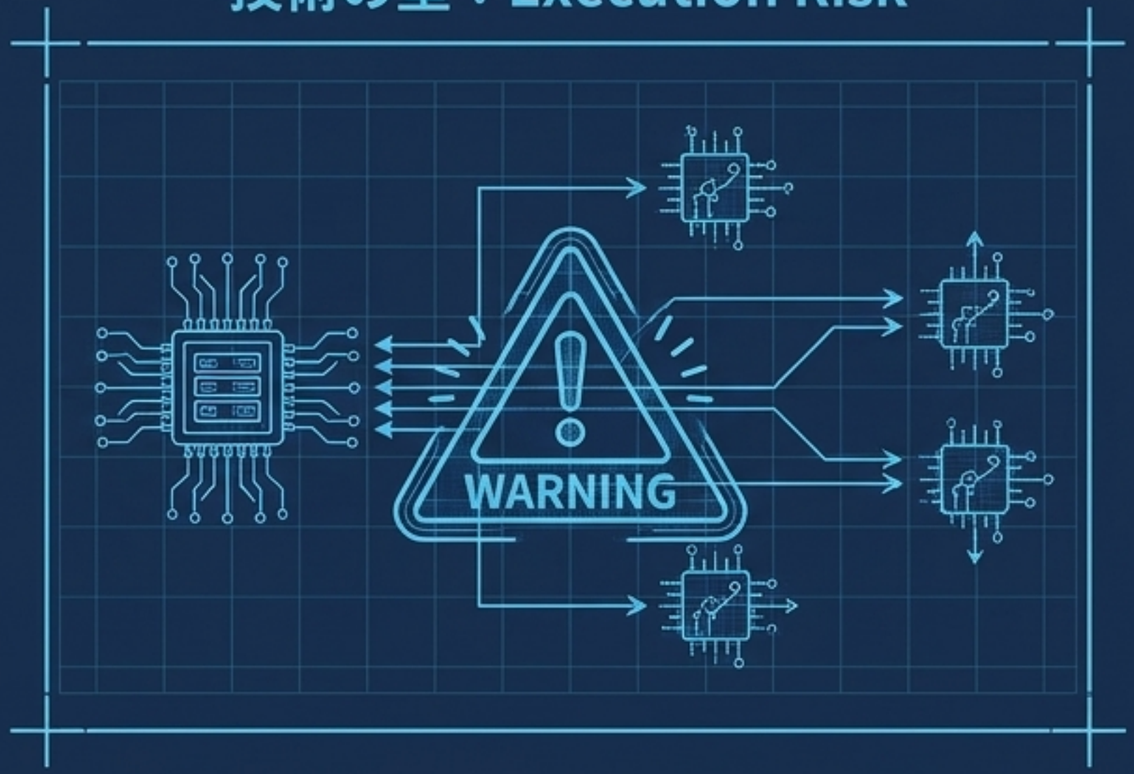
Internal Friction：組織展開の停滞と、自律実行に伴うセキュリティリスク

組織の壁：Shadow AIのリスク



- 未公開データの無意識な個人利用
- 公開論文要約から未公開発明の比較への無秩序な拡大
- 情報流出・新規性喪失リスク

技術の壁：Execution Risk



- 専門家不在によるハルシネーション看過
- 複数システム自動操作時の実行リスク
- プロンプトインジェクションによる悪意ある指示混入の脅威

Gemini Notebook

The Red Line of Compliance：弁理士法第75条（非弁行為）との境界

Green Zone（適法・社内利用）

- 企業内での発明整理
- 弁理士相談前のたたき台作成
- 最終評価は人間が行う領域

Red Zone（違法・非弁行為）

- 対特許庁の出願書類の半自動作成・提供
- 侵害有無の法的鑑定（判断）
- 無資格事業者による提供、弁理士の無検証使用（善管注意義務違反）

Gemini Notebook

Business Landscape：競合マトリックスとSaaSスケーラビリティのジレンマ

グローバルDB (PatSnap等)： 大規模IPランドスケープ	AI特化型 (Amplified等)： 高精度概念検索	国内SaaS (Patentfield等)： 日本語UI・導入容易	リーガルテック: RAG〜VDRの一気通貫連携

Bespoke（個別最適）

手厚い導入支援・個別評価軸のチューニング・工数増大

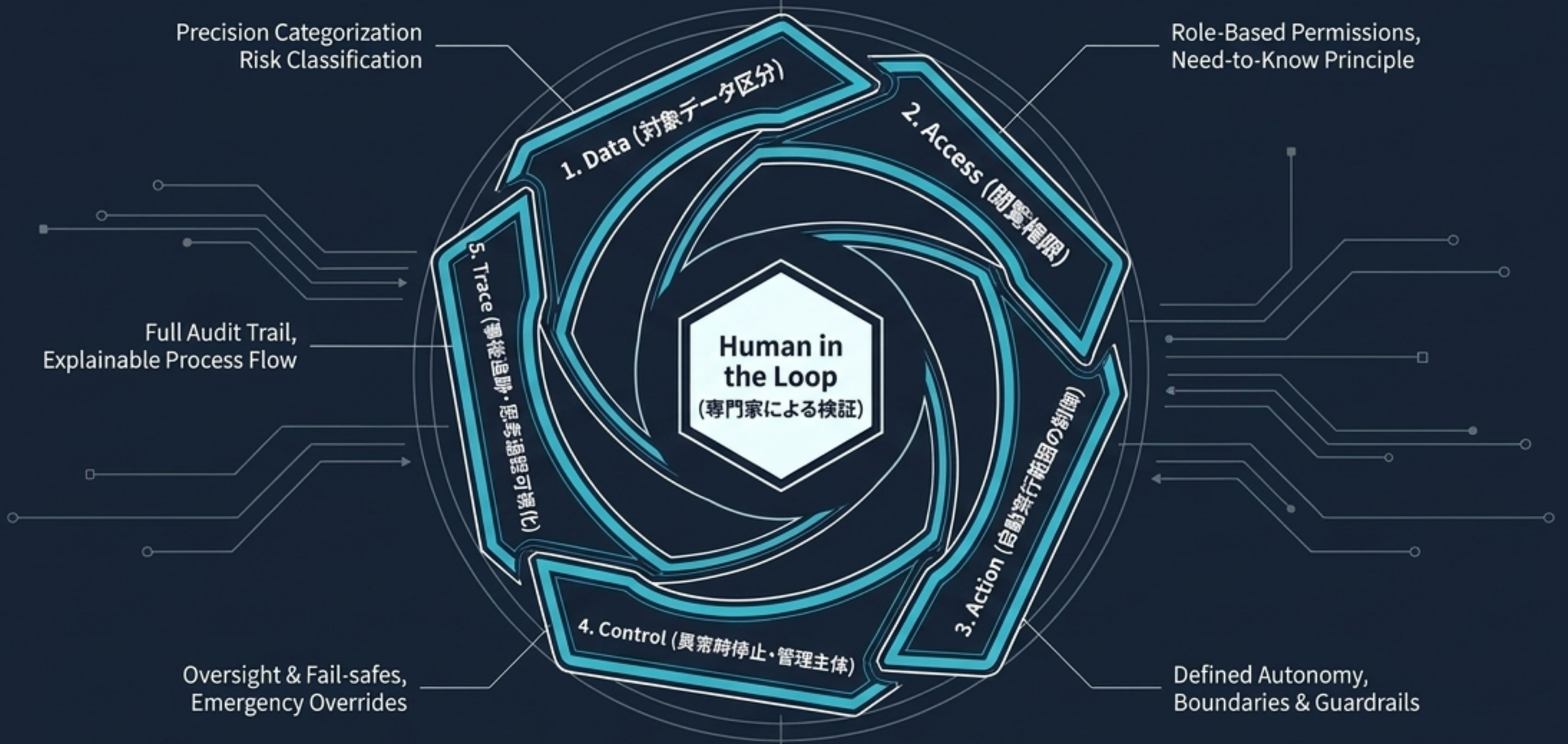
SaaSの収益性

知財の民主化・価格改定（月額2万→3.5万円）・中小への普及



Gemini Notebook

The Synthesis：Agentic AI時代における「5視点のガバナンス」



Gemini Notebook

Implementation Playbook：組織実装を成功に導く4つの実務プロトコル

1

Protocol 1: 用途とツールの二段構え

（初期たたき台はAI。FTOや最終画定は商用DBと弁理士へ）

2

Protocol 2: Human in the Loopの社内規程化

（AI出力は準備資料。対庁提出前は必ず専門家が検証）

3

Protocol 3: 3部門合意によるガバナンス構築

（情シス・知財・R&DによるData～Traceの5視点管理）

4

Protocol 4: 知財部門起点の段階的展開

（面談時の即時調査で成功体験。呼称整理を経て現場へ）

AIは知財をコストから資産へ変えるエンジンである。
そのステアリングを握るのは、設計されたガバナンスと人間の知見である。

Gemini Notebook